嘉数っこだより

令和3年2月8日
宜野湾市立嘉数幼稚園
TEL:098-898-6243
No. 20
発行：仲地

大成功！ 生活発表会

２月５日（金）、生活発表会をしました。生活発表会というのは、幼稚園生活の中で１年間学んできたことの集大成です。今年度は初めての無観客開催になりましたが、これまでクラスでやってきたことを、それぞれ子ども達と相談しながら工夫を交えて発表しました。

全クラスとも子ども達のやりたいことが詰まっていて、内容が盛りだくさんで、見どころいっぱいです。一人一人が主役の生活発表会になりました。

ここに至るまでに、子ども達はアイディアを出したり、友だちとの意見の違いで泣きたくなる思いをしたり、大きい声が出せるように練習したり、足にマメを作りながら竹馬を練習したりと、いろんな経験をしてきました。当日は緊張している子もたくさんいましたが、みんな精いっぱい頑張っていましたよ。DVD が完成するのは３月中旬頃です。待ち遠しいですね。どうぞお楽しみに。

発表会ストーリー

発表会には一人一人ストーリーがありました。その中から、いくつかご紹介します。

1．緊張するけど楽しいんだよね

Rちゃんは幼稚園に入園したばかりのころは、初めて出会う様々なことに不安な様子でした。でも、Sちゃんと仲良くなってからは笑顔も増え、遊びの幅も広がりました。

生活発表会では何名かの子に司会をやってもらうことになりました。その時に、大好きなSちゃんに誘われてRちゃんも司会をすることになりました。おとなしいRちゃんが引き受けるとは、担任も驚いたそうです。「マイクで話すのは、緊張しない？」と聞いてみると、「緊張するけどね、楽しい。」と笑顔でSちゃんと一緒に答えていました。発表会の練習中は、やはり声が小さいときもありましたが、何度も練習を重ねて、しっかり話せるようになりました。シナリオを手に準備をしているRちゃんに「字も読めるの？」と聞くと「うん」と得意気に答えます。

人前で話すのは緊張するものですが、Rちゃんは生活発表会の経験を通して、一回りも二回りも成長しました。Sちゃんの存在も大きいと思いますが、やると決めたら最後まで頑張ったRちゃんもすごいです。

幼児期に経験した「友だちと支え合うこと」や「やればできること」、「できることが増えていくこと」などは、今後の成長過程においてきっと心の支えとなることでしょうね。

2．練習してみようかな

R君はチャレンジ遊びにはあまり興味がありませんでした。そんな中、R君のクラスは生活発表会で大縄を協議の1つとしてやることになりました。みんなが大縄を回して跳ぶ「お誕生日おめでとう」という種目や「一羽のカラス」という種目をやっている中、最初は「ヘビ」をやって満足していました。しばらく練習を重ねていくうちに、「練習してみようかな」とR君がポツリ。仲良しのY君が他の遊びに誘っても「大縄の練習をしたいから、Y君もやらない？」と逆に誘ったりしていました。楽しそうに練習をし、数日前から「お誕生日おめでとう」を跳べるようになりました。本番でも、しっかり跳んでいましたよ。

子ども達は自分から「やりたい」って思った時に、伸びます。そのやる気を出させ、がんばっている姿を認めてくれる大人や友だちの存在があると、大きな力を発揮するのです。

2．泣きたくなるんだもん

ある日、たまたまクラスでかかった「スマイル」という曲。子ども達が「この曲聞きたい」と言ったので、聞かせてみました。するととてもしっとりと聞き入る姿がありました。そこで、手話も教えてみました。子ども達は気に入って、毎日やるようになりました。これを発表会でやりたいと思い、演技の一つに加えました。

発表会の前日、大好きなはずの「スマイル」に耳をふさぐK君。理由を聞くと「だって泣きたくなるんだもん。」とのこと。担任は「泣いてもいいんだよ。自然に泣きたくなるならそれが素直な気持ちだよ。先生も泣きたくなる気持ち分かるよ」と言うと、最後まで歌い終わったK君はしばらくうつ伏していました。それを見てもらい泣きする子や優しく声をかける子がいましたよ。

歌を聞いて泣ける程感動できる感性、素敵です。そんな友達に寄り添う子ども達もまた素敵です。